

平成 28 年度 特定非営利活動法人三海婦人科癌スタディグループ活動報告

1.活動期間

2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

2.活動成果

特定非営利活動法人三海婦人科癌スタディグループ(Sankai Gynecology Study Group :SGSG)は、中国四国地方を中心とした婦人科腫瘍の共同研究グループで、中国四国地方の大学病院ならびに基幹病院を主体とした 34 施設です。本研究グループの目的は、国際的評価に耐え得る臨床研究を行い、日本から新たな EBM を構築することにあります。米国腫瘍学会(ASCO)などの国際学会や国際紙への発表など、国際的にも評価される臨床研究を行いました。また、各研究グループとプロトコールの調整を行い、日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)や日本婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構(JGOG)などの全国規模での研究につながる知見の集積により質の高い臨床研究を進めることにも取り組んでおります。

今後の意義ある研究の遂行により、地域の婦人科腫瘍に対する治療への貢献に努めて参ります。

3.活動実施状況

A. 学会活動

B. 研究会会合および講演会

会合名	平成 28 年度三海婦人科がんスタディグループ総会
日時	2017 年 2 月 4 日
場所	アークホテル岡山 (岡山市)
参加人数	約 50 名
内容	平成 27 年度会計監査報告、ならびに NPO 法人としての活動報告をおこなった。現在遂行中である試験 (SGSG015、SGSG016) の現況報告および他グループからの研究協力依頼について発表した。また新規臨床試験 4 題の提案と討論を行った。

C. 臨床試験進捗状況

SGSG005 試験

試験名	子宮頸部非扁平上皮癌 (Ib2-II 期) に対する術前化学療法としてのドセタキセル+カルボプラチン併用療法の有効性及び安全性に関する検討 (第II相試験)
症例集積期間	平成 18 年 12 月～平成 22 年 4 月
目標症例数	60 例
症例登録数	61 例
Journal	Int J Clin Oncol. 2016; 21 (6): 1128-1135.

SGSG005 付随研究

試験名	SGSG-005 付随研究: 胃型形質を有する子宮頸部粘液性腺癌の抗癌剤感受性に関する検討
症例集積期間	平成 18 年 12 月～平成 22 年 4 月
目標症例数	61 例
症例登録数	47 例
Journal	作成中

学会発表 : American Society of Clinical Oncology (ASCO) 2013 Poster discussion

SGSG006 試験

試験名	IVb 期および再発子宮頸部非扁平上皮癌に対するドセタキセル+カルボプラチン併用療法の有効性及び安全性に関する検討 (第II相試験)
症例集積期間	平成 18 年 12 月～平成 24 年 12 月
集積症例数	589 例
症例登録数	50 例
Journal	作成中

学会発表 : European Society for Medical Oncology 2013

SGSG007 試験

試験名	早期卵巣癌 (pT1/T2) におけるリンパ節郭清の治療的意義に関する後方視的研究
症例集積期間	平成 7 年 1 月～平成 17 年 12 月
Journal	Int J Clin Oncol. 2013; 18(6): 1107-1113.

SGSG008 試験

試験名	SGSG-008/TGCU Intergroup study : 再発危険因子を有する子宮部非扁平上皮癌 Ib-II 期に対する術後補助療法としてのタキサン製剤+カルボプラチン併用療法の有効性および安全性に関する検討 (第II相試験)
症例集積期間	平成20年4月～平成26年6月
目標症例数	90例
症例登録数	38例
Journal	Int J Gynecol Cancer. 2016; 26(3): 561-567.

SGSG009/ TGCU Intergroup study 試験

試験名	Comparison of adjuvant chemotherapy and radiotherapy in patients with cervical adenocarcinoma of the uterus after radical hysterectomy: SGSG/TGCU Intergroup surveillance
Authors	Shimada M, Nishimura R, Hatae M, Hiura M, Takehara K, Tase T, Yamada H, Kurachi H, Sugiyama T, Kigawa J.
Journal	Eur J Gynaecol Oncol. 2013; 34(5): 425-428.

SGSG010/ TGCU Intergroup study 試験

試験名	Comparison of the outcome between cervical adenocarcinoma and squamous cell carcinoma patients with adjuvant radiotherapy following radical surgery: SGSG/TGCU Intergroup Surveillance
Authors	Shimada M, Nishimura R, Nogawa T, Hatae M, Takehara K, Yamada H, Kurachi H, Yokoyama Y, Sugiyama T, Kigawa J.
Journal	Molecular and Clinical Oncology. 2013; 1(4): 780- 784.

SGSG011 試験

試験名	再発卵巣がんに対するリポソーム化ドキソルビシン単剤療法における口内炎予防のためのサポータティブケアに関する検討
症例集積期間	平成20年4月～平成25年6月
目標症例数	42例
症例登録数	23例
症例登録終了。	

SGSG012/ GOTIC004 Intergroup study

試験名 再発子宮体癌におけるプラチナ製剤 free 期間が化学療法の効果に及ぼす影響の後方視的検討

症例登録数 265 例

Journal 1 Gynecol Oncol.2013;131(3):567-573

Journal 2 Cancer Chemothera Pharmacol. 2015; 76(2): 335-342.

SGSG013 試験

試験名 Ib2- IIb 期子宮頸がん患者に対する Cisplatin+ dose dense paclitaxel (Dose dense TP)による周術期化学療法の臨床第II相試験

症例集積期間 平成23年9月～平成24年6月

目標症例数 50 例

症例登録数 51 例

Journal Medical Oncology. 2017; 34(8): 134.

SGSG014 試験

試験名 IB2, IIA2, IIB 期子宮頸がん患者に対する Cisplatin+ dose dense paclitaxel (Dose dense TP)による術前化学療法及び再発高リスク群に対する術後化学療法の臨床第II相試験

症例集積期間 平成24年12月～平成26年8月

目標症例数 50 例

症例登録数 53 例

学会発表 : American Society of Clinical Oncology (ASCO) 2014 Poster discussion

PI : 谷岡 真樹 (兵庫県立がんセンター)

SGSG015 試験

試験名 子宮頸部非扁平上皮癌IB2-IIb期における治療法と予後に関する後方視的検討

症例集積期間 平成25年11月～平成28年3月

目標症例数 400 例

症例登録数

PI : 竹原 和宏 (兵庫県立がんセンター)

SGSG016 試験

試験名 局所進行子宮頸部癌に対する Carboplatin+ dose dense paclitaxel 併用療法 (Dose dense TC 療法) による周術期化学療法の臨床第 II 相試験

症例集積期間 平成 26 年 9 月～平成 28 年 12 月

目標症例数 50 例

症例登録数 50 例

PI: 長尾 昌二 (兵庫県立がんセンター)

症例登録終了。

Intergroup study

GOTIC-002 (LUFT) 試験

試験名 局所進行子宮頸癌放射線療法思考症例に対する UFT による補助化学療法のランダム化第 III 相試験

症例集積期間 平成 22 年 5 月～平成 28 年 4 月

目標症例数 440 例

症例登録数 232 例

PI: 藤原 恵一 (GOTIC: 埼玉医科大学国際医療センター) 症例登録中

GOTIC-003 (iPLAS) 試験

試験名 プラチナ感受性再発上皮性卵巣癌・原発性卵管癌・腹膜癌に対する リポソーム化ドキシソルビシン+カルボプラチン療法と ゲムシタビン+カルボプラチン療法 に関するランダム化第 II 相臨床試験

症例集積期間 平成 23 年 4 月～平成 26 年 11 月

目標症例数 100 例

症例登録数 100 例

PI: 藤原 寛行 (GOTIC: 自治医科大学) 症例登録終了

GOGO-EM3 (ACE) 試験

試験名 子宮体がん術後再発中・高リスク群に対する術後化学療法としての TEC (Paclitaxel + Epirubicin + Carboplatin) 療法、TAC (Paclitaxel + Doxorubicin + Carboplatin)、ddTC (Dose-dense Paclitaxel + Carboplatin) 療法のランダム化第 II 相試験

症例集積期間 平成 24 年 10 月～平成 27 年 9 月

目標症例数 105 例

症例登録数 105 例

PI: 上田 豊 (GOGO: 大阪大学)

症例登録終了。

KCOG-G1003/ Intergroup Study

Title Efficacy and safety of triple therapy with aprepitant, palonosetron, and dexamethasone for preventing nausea and vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy for gynecological cancer: KCOG-G1003 phase II trial.

Authors Takeshima N, Matoda M, Abe M, Hirashima Y, Kai K, Nasu K, Takano M, Furuya K, Sato S, Itamochi H, Tsubamoto H, Hasegawa K, Terao K, Otsuki T, Kuritani K, Ito K.

Journal Support Care Cancer. 2014; 22(11): 2891-2898.

KCOG-G1301

試験名 Efficacy and safety of olanzapine combined with aprepitant, palonosetron, and dexamethasone for preventing nausea and vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy in gynecological cancer: KCOG-G1301 phase II trial.

症例集積期間 Abe M, Hirashima Y, Kasamatsu Y, Kado N, Komeda S, Kuji S, Tanaka A, Takahashi N, Takekuma M, Hihara H, Ichikawa Y, Itonaga Y, Hirakawa T, Nasu K, Miyagi K, Murakami J, Ito K

目標症例数 Support Care Cancer. 2016; 24(2): 675-682.

3. その他

SGSGで遂行している臨床試験の迅速な終了に努め、学会発表ならびに論文発表による試験完遂を期すことを確認した。また、新規プロトコールの開始にむけて、広くコンセプトを取り上げていく。

平成28年度 財産目録
平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人
三海婦人科癌スタディグループ
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金			
山陰合同銀行普通預金	4,288,780		
未収金			
××事業未収金			
.....			
流動資産合計		4,288,780	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
パソコン1台			
応接セット			
.....			
歴史的資料			
.....			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
財務ソフト			
.....			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金			
○○特定資産			
××銀行定期預金			
.....			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,288,780
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
事務用品購入代			
.....			
預り金			
源泉所得税預り金			
.....			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金			
××銀行借入金			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,288,780

平成28年度 貸借対照表
平成29年3月31日現在

三海婦人科癌スタディグループ
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	4,288,780	
未収金	×××	
.....	×××	
流動資産合計		4,288,780
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	×××	
什器備品	×××	
.....	×××	
有形固定資産計		0
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	×××	
.....	×××	
無形固定資産計		0
(3) 投資その他の資産		
敷金	×××	
○○特定資産	×××	
.....	×××	
投資その他の資産計		0
固定資産合計		0
資産合計		4,288,780
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	×××	
前受民間助成金	×××	
.....	×××	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	×××	
退職給付引当金	×××	
.....	×××	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,500,000	-
当期正味財産増減額	2,788,780	
正味財産合計		4,288,780
負債及び正味財産合計		4,288,780

平成28年度 活動計算書

平成28年 4月 1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人
三海婦人科癌スタディグループ

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	10,000	
賛助会員受取会費	0	
.....		10,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	1,300,000	
施設等受入評価益	0	
.....		1,300,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
.....		0
4. 事業収益		
事業収益	0	
.....		0
5. その他収益		
受取利息	36	
雑収益（前組織からの移行）	2,463,030	
.....		2,463,066
経常収益計		3,773,066
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
.....		0
(2) その他経費		
会議費	523,225	
旅費交通費	144,020	
施設等評価費用	0	
英文校正費用	131,418	
支払利息	0	
.....		798,663
その他経費計		798,663
事業費計		798,663
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
.....		0
(2) その他経費		
通信費（郵送費、切手代）	11,479	
旅費交通費	68,520	
NPO法人書類作成費	86,832	
ホームページ経費（サーバー更新）	18,792	
支払利息	0	
.....		185,623
その他経費計		185,623
管理費計		185,623
経常費用計		984,286
当期経常増減額		2,788,780
III 経常外収益		
1. 固定資産売却益		0
.....		

經常外収益計			0
IV 經常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
.....			
經常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			2,788,780
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			2,788,780
前期繰越正味財産額			1,500,000
次期繰越正味財産額			4,288,780

前事業年度の年間役員名簿

特定非営利活動法人
三海婦人科癌スタディグループ

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた 期間
理事	紀川 純三		28年4月1日 ～ 29年3月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	京 哲		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
理事	沼 文隆		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
理事	中村 隆文		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
理事	本郷 淳司		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
理事	山口 聡		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
理事	大石 徹郎		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
理事	松元 隆		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
理事	平田 英司		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
監事	竹原 和宏		28年4月1日 ～ 29年3月30日	
監事	板持 広明		28年4月1日 ～ 29年3月30日	

(備考)

- 1 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員のみについて記載する。

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人

三海婦人科癌スタディグループ

氏 名	住 所
紀川 純三	
京 哲	
沼 文隆	
中村 隆文	
本郷 淳司	
山口 聡	
大石 徹郎	
松元 隆	
平田 英司	
竹原 和宏	
板持 広明	